

## R4 年度 自己評価結果公表

### 本年の教育・保育目標及び方針

- ・心身共に 丈夫なからだ 元気な子
- ・明るい子 強い子 よく遊ぶ子 あいさつのできる子

### 本年度の重点目標

- ・年齢、個別に応じ教育・保育・食育を行い、心身共に健やかに園児が成長できるようにする
- ・職員間の連携をしっかりと行い、教育・保育（食育）の充実をはかる
- ・担当制やグループ保育、個別対応を行い一人ひとりに寄り添った保育を行う
- ・リーダー職により職務への自覚と責任を持てるようにする

### 評価項目別の達成および課題状況

項目	評価・課題
本園の保育・教育理念・目標・方針の認識度	目標・方針の見直しを行ったが認識はおおむねされており、認識度は向上している。さらに保育・教育理念の認識度をあげて、保育の資質の向上をはかりたい。
クラス（給食室）間の連携	クラス（給食室）間の連携はおおむねできているが、報連相の共有が不十分な職員がいる。全職員が周知できるようにしていく。
フロア・園全体での連携	職種間連携も向上してきてはいる。フロアリーダーを中心とした連携ができているように思われる。フロア間の連携の更なる向上が必要である。
教育・保育（食育）内容	育休職員等の業務を補うことで手一杯となってしまった。適切な保育を心掛け、職員の個別の資質の向上が必要である。
保育（食育）知識・技術の向上	外部研修、内部研修、自主研修に参加することにより、各職員の資質向上に概ねつながった。ZOOM 等を利用した研修参加により非常勤職員も研修ができている、研修を通して全体のスキルアップをはかっていく。
子育て支援（保護者・地域）	保護者との連絡を口頭やノートにておおむね取れている。コロナ過で玄関対応をしているので保護者への伝達周知が大変であった。親子ひろばも多くの方に参加いただき、地域支援もできている。
小学校・地域との連携	今年度は小学校との接続が少しできた。散歩等で地域の方と接する機会も多いので挨拶をしっかりと行い、地域に根ざした園を目指していく。
健康・安全への取り組み	職員・園児の健康管理はできている。コロナ感染のみならず、インフルエンザ等の感染症拡大により対応が大変だった。今後も感染対策を継続していく。防犯・防災対策も随時見直しを行い、園児の様々な行動に臨機応変に対応できるようにする。職員一人ひとりの意識を更に高め、有事に備えたい。
職務分担への取り組み	職務分担に対して理解し、概ね各自取り組んでくれている。短時間の職員の理解度をあげるようにしていく。
リーダー職として（該当者のみ）	フロアリーダーを中心に、リーダーの役割が明確化され、専門性が高くなってきている。しかし、クラスの業務で手一杯となり、リーダー職としての役割が十分できない職員も見られ、業務体制の見直しの必要性を感じる。
総評	業務の中核を担っていた職員の休業対応等で、職員全員が補って頑張ってくれたが、職員の段階的なスキルアップの必要性を感じた。また職員配置や業務体制の見直しも行っていく必要がある。